



平成29年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成28年11月11日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社 ニレコ

コード番号 6863 URL <http://www.nireco.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 久保田 寿治

問合せ先責任者 (役職名) 取締役執行役員管理部門長

(氏名) 裕 光司

TEL 042-642-3111

四半期報告書提出予定日 平成28年11月14日

配当支払開始予定日

平成28年12月9日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有

(百万円未満切捨て)

1. 平成29年3月期第2四半期の連結業績(平成28年4月1日～平成28年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
29年3月期第2四半期	3,295	△4.4	119	△47.0	132	△47.2	60	△65.6
28年3月期第2四半期	3,448	22.4	225	—	251	—	176	—

(注) 包括利益 29年3月期第2四半期 25百万円 (△86.0%) 28年3月期第2四半期 179百万円 (532.4%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
29年3月期第2四半期	8.33	8.28
28年3月期第2四半期	24.43	24.26

(2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%
29年3月期第2四半期	12,975		11,372			87.0
28年3月期	13,221		11,398			85.3

(参考) 自己資本 29年3月期第2四半期 11,282百万円 28年3月期 11,282百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
28年3月期	—	10.00	—	10.00	20.00
29年3月期	—	10.00	—	—	—
29年3月期(予想)	—	—	—	10.00	20.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成29年3月期の連結業績予想(平成28年4月1日～平成29年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	7,300	△2.3	500	△23.0	520	△24.2	340	△28.6	46.60

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	29年3月期2Q	9,205,249 株	28年3月期	9,205,249 株
② 期末自己株式数	29年3月期2Q	1,878,275 株	28年3月期	1,934,975 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	29年3月期2Q	7,295,559 株	28年3月期2Q	7,222,084 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績等の見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因等により大きく変わる可能性があります。なお、上記予想に関する事項については、【添付資料】P.3「1.当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
(4) 追加情報	4
3. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	8
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	9
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	11
(継続企業の前提に関する注記)	11
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	11
(セグメント情報等)	11

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間における世界経済は、中国経済に減速懸念が残るものの、英国のEU離脱による欧州経済への影響は限定的で、米国経済が引き続き堅調に推移したことから、概して底堅い動きとなりました。一方、わが国経済は、個人消費に底打ちの兆しが見られるものの、為替の円高基調が続いていることから輸出企業を中心に企業業績は力強さに欠け、全般的に景気の先行きは不透明な状況で推移しました。

当社グループ（当社及び連結子会社）の主要取引先であります鉄鋼業、化学工業、印刷業、紙加工業、電子部材メーカーなどの設備投資に向けた動きは、不透明な景気動向を見据えて一部を除き慎重なものとなりました。

このような状況の下、当社グループは、引き続きいかなる環境下においても成長できる経営の実現を目指し、付加価値の高い製品・サービスの提供により顧客の抱える課題を解決するソリューション型ビジネスモデルへの変革に取り組んでまいりました。

当第2四半期連結累計期間における当社グループの業績につきましては、売上高3,295百万円（前年同期比95.6%）、営業利益119百万円（前年同期比53.0%）、経常利益132百万円（前年同期比52.8%）となりました。

また、親会社株主に帰属する四半期純利益は60百万円（前年同期比34.4%）となりました。

セグメント別の業績は次のとおりであります。

① プロセス事業

当事業の主要取引先であります国内鉄鋼メーカーは、戦略的観点から海外新規設備投資に注力する一方、国内生産体制再構築のために老朽設備の修理や更新も積極的に進めました。また、海外鉄鋼メーカーは、一部高級鋼材メーカーを除き、設備投資に向けた動きは限られたものとなりました。このような状況の下、当社グループは、国内については、設備の修理・整備、部品販売等のサービス需要の獲得に注力するとともに、老朽設備の更新のみならず、鉄鋼製品の品質と生産効率の向上につながる製品の積極的な提案に努めました。また、海外については、国内での長年にわたる実績をアピールすることにより、韓国をはじめアジア諸国の高級鋼材メーカーを中心とした新規需要の開拓を進めました。

その結果、当事業の売上高は1,172百万円（前年同期比105.1%）、セグメント利益は143百万円（前年同期比60.6%）となりました。

② ウェブ事業

当事業の主要取引先であります高機能フィルム業界は、主にフラットパネルディスプレイ向け電子部材の設備投資需要が徐々に回復しました。もう一方の主要取引先であります印刷業界は、商業印刷市場の縮小に伴い、設備投資についても厳しい環境が続きました。このような状況の下、当社グループは、高機能フィルム業界並びに印刷業界の中でも需要の安定した軟包装や特殊印刷市場へ向けた販売を強化するとともに、修理・整備、部品販売等のサービス需要獲得や部材の共通化等による生産コスト削減に注力しました。

その結果、当事業の売上高は1,418百万円（前年同期比97.8%）、セグメント利益は255百万円（前年同期比166.9%）となりました。

③ 検査機事業

当事業の主要取引先であります高機能フィルム業界は、フラットパネルディスプレイや二次電池等の電子部材品質検査装置に対する需要が堅調に推移しました。もう一方の主要取引先であります食品関連業界は、食の安全・品質に対する意識の高まりを背景に食品品質検査装置に対する需要の拡大傾向が続きました。このような状況の下、当社グループは、高機能フィルム業界に対し、無地検査装置の豊富なラインアップによる提案を進めました。また、食品関連業界に対し、市場のニーズをいち早くつかみ、選果装置で培った外観検査技術とコア技術である画像処理技術の応用により実現した新製品の投入を進めてまいりましたが、選果装置の老朽更新による売上高が前年同期を下回りました。

その結果、当事業の売上高は693百万円（前年同期比79.6%）、セグメント損失は21百万円（前年同期はセグメント利益103百万円）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産、負債、純資産の状況)

当第2四半期連結会計期間末における総資産は、前連結会計年度末に比べて245百万円減少し、12,975百万円となりました。これは主に現金及び預金の増加152百万円、投資有価証券の増加50百万円があったものの、受取手形及び売掛金の減少222百万円、仕掛品の減少89百万円、建物及び構築物の減少48百万円、有価証券の減少17百万円などがあった事によります。また、負債は前連結会計年度末に比べて219百万円減少し、1,603百万円となりました。これは主に前受金の増加70百万円、未払消費税等の増加55百万円があったものの、未払法人税等の減少114百万円、長期借入金の減少75百万円、未払費用の減少60百万円、支払手形及び買掛金の減少54百万円、リース債務の減少16百万円、工事損失引当金の減少14百万円、役員退職慰勞引当金の減少12百万円があった事によります。

純資産は前連結会計年度末に比べて25百万円減少し、11,372百万円となりました。これは主に時価上昇によるその他有価証券評価差額金の増加32百万円、ストックオプション行使等による自己株式の減少32百万円、退職給付に係る調整累計額の増加32百万円があったものの、為替換算調整勘定の減少81百万円、非支配株主持分の減少18百万円ありました。また、利益剰余金が親会社株主に帰属する四半期純利益により60百万円増加したが、配当金の支払いにより73百万円の減少等があり、これらの事象を含めて16百万円減少した事によります。

(キャッシュ・フローの状況)

当連結会計年度における現金及び現金同等物(以下「資金」という。)につきましては、営業活動により408百万円増加し、投資活動により113百万円、財務活動により147百万円減少しました。その結果、当連結会計年度末の資金残高は前連結会計年度末と比べて103百万円増加し、4,437百万円となりました。当連結会計年度末における各キャッシュ・フローの概況とそれらの要因は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果得られた資金は408百万円(前年同期比116百万円の増加)となりました。これは主なフローアウトに法人税等の支払額87百万円、未払費用の減少60百万円、仕入債務の減少48百万円などがあったものの、主なフローインとして売上債権の減少183百万円、たな卸資産の減少95百万円、減価償却費91百万円、税金等調整前当期純利益89百万円、未払消費税等の増加68百万円などがあった事によります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果使用した資金は113百万円(前年同期比43百万円の減少)となりました。これは主に定期預金の払戻による収入176百万円、貸付金の回収による収入11百万円、投資有価証券の売却による収入11百万円などがあったものの、定期預金の預入による支出227百万円、投資有価証券取得による支出59百万円などがあった事によります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果使用した資金は147百万円(前年同期比5百万円の増加)となりました。これは主に自己株式売却による収入18百万円があったものの、当社新社屋建設に関する資金調達を主な理由とした長期借入金の返済による支出75百万円、配当金の支払73百万円があった事によります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

第2四半期累計期間までの業績は経済環境としては緩やかな回復基調にあるものの、当初想定していた選果装置の一部の受注時期が後ろにずれ込んだことから、検査機事業の売上高が想定を下回る結果となりました。

第3四半期連結会計期間以降においても、第2四半期(累計)連結会計期間までの未達を取り返すほどの急激な回復は見込めないと想定しております。

これにより、通期業績予想について見直しをおこないました。その結果、当初予想に比べ売上高が200百万円、営業利益150百万円、経常利益160百万円、親会社株主に帰属する当期純利益110百万円減少する修正をおこなっております。

なお、詳細につきましては本日別途公表いたしました「第2四半期(累計)連結業績予想と実績との差異及び通期連結業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

・税金費用の計算

税金費用については、当第2四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

(会計方針の変更)

(平成28年度税制改正に係る減価償却の方法の変更に関する実務上の取扱い)

法人税法の改正に伴い、「平成28年度税制改正に係る減価償却方法の変更に関する実務上の取扱い」（実務対応報告第32号 平成28年6月17日）を第1四半期連結会計期間に適用し、平成28年4月1日以後に取得した建物附属設備及び構築物に係る減価償却方法を定率法から定額法に変更しております。

なお、この変更による当第2四半期連結累計期間の損益に与える影響は軽微であります。

(追加情報)

「繰延税金資産の回収可能性に関する適用指針」（企業会計基準適用指針第26号 平成28年3月28日）を第1四半期連結会計期間より適用しております。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成28年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成28年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	4,485,235	4,637,888
受取手形及び売掛金	2,909,710	2,686,932
有価証券	31,317	14,164
商品及び製品	1,074,256	1,057,845
仕掛品	497,029	407,976
原材料及び貯蔵品	439,841	428,656
繰延税金資産	160,382	158,261
その他	181,994	153,609
貸倒引当金	△23,713	△21,264
流動資産合計	9,756,053	9,524,070
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	1,365,292	1,317,057
機械装置及び運搬具(純額)	65,823	57,934
工具、器具及び備品(純額)	52,136	50,370
土地	644,942	644,942
建設仮勘定	1,151	750
有形固定資産合計	2,129,346	2,071,055
無形固定資産		
リース資産	67,184	51,086
その他	17,289	18,643
無形固定資産合計	84,473	69,729
投資その他の資産		
投資有価証券	979,546	1,029,988
長期貸付金	164,820	153,614
破産更生債権等	18,704	18,704
その他	149,148	166,325
貸倒引当金	△60,544	△57,736
投資その他の資産合計	1,251,676	1,310,896
固定資産合計	3,465,497	3,451,681
資産合計	13,221,551	12,975,752

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成28年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成28年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	337,160	282,239
1年内返済予定の長期借入金	151,988	151,988
リース債務	31,935	29,942
未払費用	374,917	314,213
未払法人税等	154,141	39,728
未払消費税等	22,857	78,677
役員賞与引当金	15,000	7,500
工事損失引当金	64,106	49,216
その他	211,392	273,343
流動負債合計	1,363,501	1,226,849
固定負債		
長期借入金	356,026	280,032
リース債務	36,112	21,857
役員退職慰労引当金	18,842	6,756
退職給付に係る負債	38,827	44,685
繰延税金負債	10,109	23,266
固定負債合計	459,917	376,597
負債合計	1,823,418	1,603,446
純資産の部		
株主資本		
資本金	3,072,352	3,072,352
資本剰余金	4,124,646	4,124,646
利益剰余金	5,383,472	5,367,272
自己株式	△1,291,970	△1,259,022
株主資本合計	11,288,501	11,305,249
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	29,350	61,646
為替換算調整勘定	96,331	14,451
退職給付に係る調整累計額	△131,253	△99,186
その他の包括利益累計額合計	△5,572	△23,088
新株予約権	28,189	21,263
非支配株主持分	87,013	68,882
純資産合計	11,398,132	11,372,305
負債純資産合計	13,221,551	12,975,752

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年9月30日)
売上高	3,448,263	3,295,710
売上原価	2,202,633	2,222,169
売上総利益	1,245,629	1,073,541
販売費及び一般管理費	1,020,624	954,235
営業利益	225,005	119,306
営業外収益		
受取利息	6,558	6,526
受取配当金	10,278	11,547
補助金収入	14,000	-
その他	15,429	12,642
営業外収益合計	46,266	30,716
営業外費用		
支払利息	2,739	2,074
為替差損	-	6,976
固定資産圧縮損	14,000	-
環境対策費	-	4,740
その他	3,351	3,663
営業外費用合計	20,090	17,454
経常利益	251,180	132,568
特別損失		
投資有価証券評価損	-	42,995
特別損失合計	-	42,995
税金等調整前四半期純利益	251,180	89,573
法人税等	72,581	33,811
四半期純利益	178,599	55,761
非支配株主に帰属する四半期純利益又は非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	2,129	△5,029
親会社株主に帰属する四半期純利益	176,470	60,791

(四半期連結包括利益計算書)
 (第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成27年4月1日 至 平成27年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成28年4月1日 至 平成28年9月30日)
四半期純利益	178,599	55,761
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△34,295	32,296
繰延ヘッジ損益	3,092	-
為替換算調整勘定	20,421	△94,981
退職給付に係る調整額	11,303	32,066
その他の包括利益合計	521	△30,618
四半期包括利益	179,121	25,143
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	175,414	43,275
非支配株主に係る四半期包括利益	3,706	△18,131

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成27年4月1日 至 平成27年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成28年4月1日 至 平成28年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	251,180	89,573
減価償却費	95,080	91,979
長期前払費用償却額	4,056	4,200
役員賞与引当金の増減額 (△は減少)	—	△7,500
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	21,948	△5,178
工事損失引当金の増減額 (△は減少)	17,396	△14,890
退職給付に係る資産負債の増減額	9,338	5,857
役員退職慰労引当金の増減額 (△は減少)	534	△12,086
受取利息及び受取配当金	△16,837	△18,073
支払利息	2,739	2,074
為替差損益 (△は益)	380	4,430
投資有価証券売却損益 (△は益)	△218	729
投資有価証券評価損益 (△は益)	—	42,995
有形及び無形固定資産除却損	366	1,187
売上債権の増減額 (△は増加)	287,878	183,881
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△379,933	95,133
その他の流動資産の増減額 (△は増加)	△5,442	14,803
仕入債務の増減額 (△は減少)	60,461	△48,811
未払費用の増減額 (△は減少)	41,962	△60,703
未払消費税等の増減額 (△は減少)	△104,626	68,775
その他の流動負債の増減額 (△は減少)	△14,566	37,965
その他	5,411	4,096
小計	277,112	480,438
利息及び配当金の受取額	16,868	18,310
利息の支払額	△2,739	△2,229
法人税等の支払額	△12,889	△87,887
法人税等の還付額	13,636	—
営業活動によるキャッシュ・フロー	291,988	408,632
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△187,595	△227,657
定期預金の払戻による収入	187,584	176,406
固定資産の取得による支出	△51,022	△27,354
投資有価証券の取得による支出	△61,023	△59,075
投資有価証券の売却による収入	13,877	11,480
貸付けによる支出	—	△480
貸付金の回収による収入	14,386	11,906
その他の支出	△1,599	△1,780
その他の収入	15,946	3,165
投資活動によるキャッシュ・フロー	△69,446	△113,389

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成27年4月1日 至 平成27年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成28年4月1日 至 平成28年9月30日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
長期借入金の返済による支出	△75,994	△75,994
自己株式の売却による収入	20,716	18,216
自己株式の取得による支出	△75	-
配当金の支払額	△73,542	△73,962
その他	△24,832	△16,224
財務活動によるキャッシュ・フロー	△153,727	△147,963
現金及び現金同等物に係る換算差額	8,072	△43,768
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	76,887	103,510
現金及び現金同等物の期首残高	4,074,468	4,333,845
現金及び現金同等物の四半期末残高	4,151,355	4,437,355

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間(自平成27年4月1日至平成27年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	プロセス 事業	ウェブ 事業	検査機 事業	計				
売上高								
外部顧客への 売上高	1,115,217	1,451,170	871,488	3,437,875	10,388	3,448,263	-	3,448,263
セグメント間 の内部売上高 又は振替高	-	-	-	-	-	-	-	-
計	1,115,217	1,451,170	871,488	3,437,875	10,388	3,448,263	-	3,448,263
セグメント利益	236,998	152,792	103,852	493,642	338	493,980	△268,975	225,005

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、機械部品製作事業、電子機器組立事業などを含んでおります。

2. セグメント利益の調整額△268,975千円は、各報告セグメントに配分していない当社の管理部門に係る費用であります。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。

(重要な負ののれんの発生益)

該当事項はありません。

Ⅱ 当第2四半期連結累計期間(自平成28年4月1日至平成28年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	プロセス 事業	ウェブ 事業	検査機 事業	計				
売上高								
外部顧客への 売上高	1,172,299	1,418,738	693,682	3,284,719	10,991	3,295,710	-	3,295,710
セグメント間 の内部売上高 又は振替高	-	-	-	-		-	-	-
計	1,172,299	1,418,738	693,682	3,284,719	10,991	3,295,710	-	3,295,710
セグメント利益 又は損失(△)	143,599	255,074	△21,326	377,347	△12	377,335	△258,029	119,306

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、機械部品製作事業、電子機器組立事業などを含んでおります。

2. セグメント利益又は損失(△)の調整額△258,029千円は、各報告セグメントに配分していない当社の管理部門に係る費用であります。

3. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。

(重要な負ののれんの発生益)

該当事項はありません。